

CONNECT

天理大学広報誌

Vol.
02

大学と地域が共に
つくる未来



大学と街がつながる。
その可能性は無限大。

対談

市長



学長 天理大学は、天理教二代真柱である中山正善氏が天理外国語学校として1925年に創設しました。国際色豊かな人材、人間が互いに助け合う“陽気ぐらし”という天理教の教えに寄与する人材の養成を理念とし、1949年には天理大学となり歩みを進めて参りました。そして今年百周年を迎えるにあたり、次の100年に向かってさまざまな人と社会がつながり、世界がひとつになるという願いを込めて“CONNECT「つながる」を、始めよう。”をコンセプトに、地域×天理大学のさまざまな百周年事業を進めています。天理市とはさまざまな共同事業を行ってきましたが、本事業の一環としては、2024年4月に天理駅前施設をサテライトキャンパスとし、つながりを生み出す拠点にしました。

市長 天理大学が地元・天理市、地域社会と接点を持つてくださる、まさにつながる場所ですね。学生が天理市の観光案内を発信するカウンターも併設されていますし、歴史・文化的なこの街を、学生の皆さんの視点で観光資源としてどう活かしていくのか、実践を通して模索する。同時に、市民と共に地域を元気にして、基礎的なビジネスについても学べるのは、学生の皆さんが将来自分のビジョンを拓いていく上でも、非常に意義深いことです。

学長 同感です。サテライトキャンパスには、アウトドア用品を扱う株式会社モンベルと大学が共同して運営するカフェ併設のモンベルストアがあり、学生がアルバイトやインターンとしてかかわっていますし、天理市の特産品を販売する i CONNECT Shopでは、学生たちが運営だけでなく、生産者と相談して商品を販売しています。

市長 卒業生も生産者のひとりとしてかかわっておられると聞きました。全国で活躍されている卒業生の皆さんが、ビジネスを通じてまた天理市につながっていく、そんな流れも期待していますし、これから連携の形が根付いていくよう我々も精一杯協同したいと思っています。

学長 ありがとうございます。天理市は昨年70周年を迎えられ、同じく色々な事業を進められています。特に並河市長は“教育における街づくり”に力を入れておられますね。

市長 天理市は、地域全体で子どもたちを育み支え合うことをめざしています。その一環として、小学校を時間帯により使い分け、公民館など多様な機能を持たせる「学校3部制」を導入し、地域活性化を図っています。昨年11月には奈良県教育委員会と天理大学が連携協定を結んだので、今後は公立中学校の課外活動に学生がサポートに入ってくれることも期待しています。



＜ 学 長

大学と地域の活性化は、 利他の精神が源になる。

学長 天理大学はスポーツも盛んなので、その面でも貢献できると思います。特に「天理柔道」は創設者の中山正善氏が柔道の国際化に尽力されています。そのお陰で毎年海外の柔道チームが本学に学びに来ますが、その際は天理市の観光も楽しんでくださっています。

市長 日本の武道の精神性も含めて、天理柔道の本場で体験できるのはすごいことです。観光資源、と言っては叱られるかも知れませんが、そのくらいの広がりを感じます。

学長 別の面では一昨年、天理医療大学と統合・新設した医療学部が、前身より続く「まちの保健室」を継承し、地域の方々へ健康相談、病気の予防法などを発信しています。今後は回数を増やし、さらなる健康意識向上に貢献したいと思います。

市長 天理市では高齢者の方向けに集いの場を提供していますが、大学の専門的な知識を持ってかわっていただくのはとてもありがたいですね。天理大学旧文学部が「天理市内埋蔵文化財の調査・研究に関する覚書」を締結したことで実現した、東乗鞍古墳の発掘調査もそのひとつです。

学長 学生たちも実際に現場に行って初めて理解したことが多く、非常に重要な学びを経験しています。歴史的な文化資源としては、附属天理参考館に天理市の古墳群から出土した土器などを展示しています。天理市を訪れたらぜひ立ち寄っていただき、天理市の魅力をさらに感じ取って欲しいです。

市長 別の面から天理市をPRするエッセンスとして、天理大学の韓国・朝鮮語教育の長い歴史があるからこそ、それがご縁となって、天理市は韓国の瑞山（ソサン）市と姉妹都市交流を続けています。双方の中学生たちが交流する中でも、天理大学の韓国・朝鮮語学科の皆さんに通訳ボランティアとして助けていただいています。

学長 「陽気ぐらし」は、助け合いの精神をどう我が事として言動に移せるか、という点にかかっているように思います。そうした経験や心の姿勢、人の喜びを自分の喜びに変えられる利他的な精神、すなわち天理スピリット「他者への献身」という人間性が自然に身につく大学であり続けたいと思っています。



奈良県私立東大寺学園高等学校、東京大学法学部卒業。平成15年外務省に入省し、日本APEC準備事務局や国際協力局アフガニスタン支援室などを経て、平成25年天理市長初当選。現在3期目。



天理市長 並河 健

カリフォルニア大学バークレイ校卒業、同大サンタバーバラ校大学院修士号取得。平成4年天理教アメリカ伝道庁に出向し、天理教海外部翻訳課長や海外部次長など、海外部に計18年携わり、天理大学専務理事を経て令和5年4月天理大学学長就任。



天理大学 学長 永尾 比奈夫

Community Engagement

大学と地域が共につくる未来。
各学部の教員が活動を紹介します！

教員編

発掘調査を通して古墳の全貌を明らかに。

—— 学部で力を入れている取り組みは？

歴史文化学科考古学コースで2018年から毎年行っている東乗鞍古墳の発掘調査です。東乗鞍古墳は、杣之内古墳群を構成する主要古墳のひとつ。古代豪族・物部氏の首長墓の可能性もあり、古墳時代後期の県内でも有数の前方後円墳です。これまでの発掘調査から、古墳の大きさや形状が少しずつ明らかになってきました。天理市内には数多くの古墳がありますが、まだまだ十分に調査されていないものが多いです。そんな中で天理大学が調査に取り組むのは、地域にとっても意義のあることだと感じています。

—— 取り組みを通して学生に期待することは？

必要な知識や技術を座学で学んだうえで調査に向かいますが、現場で体験することで学生たちの認識は大きく変わります。歴史を「自分ごと」として捉えられるようになり、発掘調査をきっかけに考古学を仕事にしようと決心する学生も複数います。発掘調査に限らず、フィールドワークは単に調査をするだけでなく、地域社会とのつながりを育むものです。当たり前のことですが、学生たちには地域の方々へしっかり挨拶や説明をして、来た時より綺麗にして帰ろうと徹底して伝えています。まだまだ調査は始まったばかり。東乗鞍古墳の正確な形状や年代、被葬者像を今後も学生とともに追究していきたいです。



人文学部

人文学部 歴史文化学科
橋本 英将 教授



国際学部



国際学部 韓国・朝鮮語学科
長森 美信 教授



語学力を活かして通訳ボランティアに挑戦！

—— 学部で力を入れている取り組みは？

国際学部では奈良マラソンや世界柔道、東大寺での観光案内などさまざまなイベントで通訳ボランティアを行っています。2023年から天理市の各中学校では、韓国の姉妹都市である瑞山(ソサン)市の中学生の訪問を受け入れる交流行事を行っています。2023年は計6回約500名、2024年は計9回約620名の中学生が天理を訪れました。韓国・朝鮮語学科では天理市教育委員会からの依頼を受け、各回4～5名の学生を通訳として派遣。ゲームのルール説明や生徒の会話の通訳などを通して交流をサポートしました。

—— 取り組みを通して学生に期待することは？

通訳ボランティアの参加者には留学経験者も多く含まれます。世界各地に留学していた学生たちも、帰国すると外国語を話す機会はやはり減ってしまいます。身近な地域でのこのような取り組みは、留学経験者の外国語でのコミュニケーション能力の維持にも役立ちますし、留学をしていない学生たちも実践を通して自分の外国語能力に自信を持つことができます。通訳で他者に貢献する経験を通して、他の活動にも積極的になれたと話す学生も多くいます。コロナ禍による厳しい制限の下でも天理大学では可能な限り留学生の派遣と受入を継続し、海外協定校とのオンライン交流など、さまざまな試みを続けてきました。学生の間にしか経験できない国際交流、社会貢献に積極的に取り組み、国や地域をこえた広い視野を育んでほしいと思っています。

柔道指導者をエジプトに派遣。 スポーツで世界とつながる。

——学部で力を入れている取り組みは？

スポーツで世界とつながる活動に力を入れています。天理大学は2022年にJICA関西、天理市との3者連携を締結しました。その連携活動のひとつとして、エジプトへの柔道指導者派遣を行っています。この取り組みは現役の体育学部生に限らず、天理大学柔道部の卒業生も対象としています。2023年10月から2年間の長期派遣員として柔道部卒業生1名がエジプトへ渡り、2024年2月から1ヶ月間、当時の現役柔道部員5名が短期派遣を経験。帰国後には天理市内の小学校での出前授業も実施し、現地での生活や柔道指導を通じて感じた日本との違いなどを語りました。

——取り組みを通して学生に期待することは？

2024年4月にエジプトで行われた「アフリカ選手権2024」の男女混合団体戦でエジプトチームが初優勝したことは、この取り組みの大きな成果といえます。ただ、エジプトの柔道ナショナルチームの強化に貢献するだけでなく、開発途上国での国際協力の推進と国際協力に資する人材を育成することも派遣の目的としています。2025年も2月から3名の柔道部員が短期派遣に向かうほか、10月には昨年度短期派遣を経験した部員1名が長期派遣に挑戦します。彼らには柔道家としての意地とプライドを現地で伝え、自身も学ばせていただく姿勢で活動に取り組んできてほしいと願っています。

体育学部



体育学部 体育学科
穴井 隆将 准教授

地域の中で、学びの成果を発揮！市民の健康増進に貢献する。

——学部で力を入れている取り組みは？

2019年から行っている「まちの保健室」です。「まちの保健室」は看護学科・臨床検査学科の4年生の授業の一環でもあり、地域の方々へ医療学部の学びの成果を知っていただくとともに、ケガや病気の予防法、健康相談、災害の備えなどを紹介するイベントです。2024年度は天理駅前のサテライトキャンパスで開催し、天理市民を中心に約240名の参加者に来場いただきました。看護学科は生活習慣病予防や応急手当体験、妊婦体験など12のブース、臨床検査学科は検査や検診に関する学生制作のポスターの掲示や顕微鏡体験、PCR検査体験などの4つのブースをそれぞれに企画・運営しました。

——取り組みを通して学生に期待することは？

開催後の振り返りの際には、学生から成功体験や具体的な改善点、反省点が挙げられます。卒業を控えた4年生がそれまでに培った知識やコミュニケーション力の活かし方を自ら考え、実践する貴重な機会になっていると感じます。次年度から「まちの保健室」はかたちを変え、通年で複数回の開催となり、他学部との共同企画や若い世代への体験学習などさまざまな企画を予定しています。学生たちには、今後も社会貢献を通じて医療学部の「人に尽くすことを自らのよるこびとする」という教育理念を体現してもらいたいと思います。

医療学部 臨床検査学科
小松 方 教授



医療学部





人文学部
東乗鞍古墳発掘調査

遺物が経てきた過程に目を向けていきたい。

——発掘調査ではどんな活動をした？

発掘調査区を掘り出し、埋め戻すところから、出土した土器片の洗浄・整理、測量まで多くのことを経験できました。雨で作業がストップすることもありましたが、みんなで声をかけあいながら取り組みました。楽しかったのは、先生から土器に関するさまざまな話を聞いたことです。それまで注目していなかった視点からの話が多く、土器を見る楽しさに気づくことができました。また、別々に出土した土器片を確認していくなかで、カチッと土器片が合わさる瞬間がありました。それまで小さかった土器が一気に大きくなる感覚は忘れられません。

——取り組みを通してどんな学びがあった？

それまで独立していた授業での学びが、ひとつの大きなまとまりとしてつながったことが発掘調査で得た大きな学びです。また、博物館で見る遺物やそれらの研究成果に至るまでの「過程」を垣間見ることができたのも重要な学びとなりました。私が専攻している民俗学と今回の発掘調査は、一見まったく別の分野のように思われるかもしれませんが、かつての人の暮らしや社会にあったものを現存するものから見出すという部分では共通しています。いま残っているものは、ひとつの「結果」としてのかたち。そこに至るまでの過程や背景にも意識を向けていきたいと感じました。

文学部 歴史文化学科
考古学・民俗学研究コース 3年次生
森 花月さん



通訳の楽しさや会話との違いを知ることができた。

——通訳ボランティアの役割って？

主に司会の通訳とゲームでの手助けをしました。司会原稿は当日にもらい、ボランティアのメンバーと分担して通訳しました。クラスごとに分かれてゲームをする際には、緊張もあり、生徒たちはコミュニケーションに苦戦して上手くゲームができない様子でした。そこで、困っているクラスを見つけたら生徒たちに話しかけ、コミュニケーションをとれるように誘導しました。そもそもの目的は日韓の生徒同士の交流で、私が生徒たちと仲良くするためのものではありません。そのため、生徒同士のコミュニケーションを優先して、話しすぎないことを心がけました。

——取り組みを通してどんな学びがあった？

私が通訳したことで笑顔になり、楽しんでいる生徒の姿を見られてうれしかったです。1年間韓国へ留学しましたが、通訳をする機会はなかったので、こんなにも楽しく、人の役に立てるものだと知りませんでした。また、大きな学びとなったのは会話と通訳の違いです。通訳は話者の伝えたいことを的確に訳す必要があり、伝え方を間違えると勘違いが生まれてしまうため、責任ある仕事なのだと実感しました。今回のボランティア参加後、通訳をすることが増えました。将来は韓国で暮らしたいと思っているので、国内外で通訳を通して人の役に立てよう頑張りたいです。

国際学部
韓国語通訳ボランティア



国際学部 外国語学科 韓国・朝鮮語専攻 4年次生
平野 友香さん



Community Engagement

地域連携の活動で得た学びとは？
各学部の学生たちの声をお届けします！

学生編

体育学部

JICA海外協力隊エジプト派遣



選手強化と柔道の魅力の発信に取り組む。

——エジプトではどんな活動をした？

日本選手と海外選手の柔道に対する意識の違いを学び、柔道の知識を現地の人々に少しでも伝えたいという想いで短期派遣員に応募しました。現地ではナショナルチームの選手と稽古やトレーニングに励み、柔道に対する姿勢の指導も行いました。さらに、ナショナルチームの選手と一緒に子どもたちへの柔道指導のイベントにも参加。稽古以外でも選手と交流し、互いの文化の違いについて理解を深めました。稽古中は真剣ですが、稽古後は一緒に食事や余暇時間を楽しみ、充実した日々を過ごすことができました。文化や言語、環境の違いには苦労しましたが、すべてが大切な思い出になっています。

——この取り組みを将来どう活かす？

この取り組みを通して、現地の選手たちの柔道に対する気持ちに変化を起こせたのではないかと思います。今年の秋からは2年間の長期派遣に挑戦します。長期派遣では、現地の日本人スタッフと意見交換をしながらナショナルチームの強化はもちろん、多くの人々に柔道の魅力を伝え、日本にも活動内容を発信していきたいです。そして、将来的には教員としてエジプトでの経験を指導に活かしたいと考えています。現地で得たものを次世代につなぎ、海外に興味がある選手のサポートにも取り組んでいけたらと思っています。

大学院体育学研究科
体育学専攻 2年次生
舟崎 千夏さん



医療学部 まちの保健室

子どもの窒息事故をなくしたい！

——取り組みを通して工夫したことは？

「小児の救急 窒息事故から子どもを守る」のコーナーで、窒息事故の件数、窒息から脳死状態に至る経緯などを説明しました。資料や映像のほか、事前に作った子ども・成人男性・成人女性の気道の模型もお見せして、子どもの気道がいかに細いかを知っていただけるよう工夫しました。当日は、小さなお子さんから高齢の方々まで幅広い層の方が足を運んでくださり、さまざまなコーナーで健康に対する知識を深めていただけたかと思います。私自身も地域の方々の健康に対する考えを知ることができたので、この経験を活かし、今後も地域の健康増進に貢献していきたいです。

医療学部
看護学科
4年次生
北田 花楼さん



医療学部
臨床検査学科
4年次生
和田 理喜さん



伝えることの難しさと大切さを実感。

——取り組みを通してどんな学びがあった？

PCR検査のコーナーを担当し、PCRの原理や臨床検査技師がどんな検査を行っているかを説明しました。自分の頭のなかでは理解できていても、人にわかりやすく教えることはこんなにも難しいのかと痛感しました。そこで、なるべく専門用語を使わず、自作のパズルを使って説明することに。パズルの体験を取り入れたことで、お子さんにも興味を持ってもらえました。今回の経験を通して、医療の知識をもたない方に専門的な情報を伝えるときには、相手の理解度に応じて言葉を選び、丁寧に説明することが大切だと実感しました。この経験は、臨床検査技師として働く際にも大いに活かせると思っています。

奈良の魅力を発信したい。 その情熱が原動力。

圧倒的な知識量と分かりやすさ、ひと味違うツアープランで、あっという間に人気観光ガイドになった松原さん。
長年根気よく積み上げた知識と経験の土台があるからこそ、軽やかに全国を駆け回るいまがあります。

豊富な知識、説得力、伝える力。すべて身につけて挑戦しました。

「ガイド中は、とにかく難しい話を分かりやすく、短い言葉で楽しく伝える事を大事にしています。」

激みのない軽快な口ぶり、と、気さくで人懐っこい話し方にグッと引き寄せられて、自然に耳を傾けてしまう。そんな不思議な魅力と、歴史マニアをもリピーターにしてしまう知識量で、いまや活躍の場を奈良から全国区に広げているのが、奈良観光コンシェルジュの松原 純さんです。

映像クリエイターとして奈良の美しい名所や景色の動画作成・配信も手がける松原さんですが、天理大学では意外にも体育学部在籍していました。

「体を動かすのが好きで、小学生で始めた硬式テニスは高校時代、全国大会にも出場しました。その時の顧問が天理大学出身で、大学の良さを聞いていましたし、体育も好きだったので、天理大学の体育学部に入學して体育教員をめざそうという感じで進路を決めました。」

天理大学でももちろんテニス部に入部した松原さんでしたが、

奈良県学生テニス選手権で2年連続ダブルス優勝するなどテニス漬けの日々を送るうちに、体育教員ではなく、テニスに特化した仕事に就きたいと夢は変化していき、卒業後は奈良県内のテニススクールにコーチとして就職。

「スクールでは生徒さんたちが休憩時間にいろんな情報交換をされるんですが、皆さん奈良県内の名所やお店に詳しい。対して私は、奈良に生まれ育っているのに話題についていけなくて、これは恥ずかしいと。そこで奈良について色々調べ始めたら、その歴史の深さや景観の美しさから、奈良のポテンシャルの高さに気づいたんです。」

この魅力を世界へ発信したい。そう思った松原さんは大好きだったテニスコーチを6年で辞め、奈良の観光業界へ…と思いきや、オーストラリアへ。世界へ発信するには語学力が必要、と2年かけて英語を身につけ、さらに発信する窓口として不可欠なウェブサイト構築するため、ホームページ作成の学校でも学びました。

「帰国後は、海外の方がどんな意図で奈良を訪れているのか調査する必要があると考えて、ならまちにあるゲストハウスで2年間働きながら、お客様と交流して毎日リサーチしていました。そうこうしているうちに、Nara観光コンシェルジュアワードという観光ガイドの大会で優勝したんです。それを機に奈良観光コンシェルジュとして活動を始めました。」

ひとつのことをずっとやり続けることが 唯一無二の存在になれる方法。

サラリと話す松原さんですが、目標を達成するまでの年月や努力の道のりは、並大抵ではありません。いかに近道で目標にたどり着けるかと考えそうなところを、松原さんが何より大切にしたのは、遠回りしても、未来のお客様を楽しませるための知識や説得力を身につけることでした。

「奈良まほろばソムリエ検定(通称・奈良検定)」というのがあるんですよ。奈良の素晴らしさを伝える人材育成のための検定です。奈良通2級、1級の上に、専門的な知識や語り部としてのスキルを求められる“ソムリエ”がありまして。それに合格したら情報発信を始めようと思っていました。奈良通のソムリエが発信している動画となると『ちょっと覗いてみようかな』となるじゃないですか。やっぱり説得力が違うと思ったんです。思い立ってから仕事になるまで5、6年かかりましたが、ひとつの事をずっとやり続けるというのは、テニスもそうですし、昔からやってきた事。中途半端で終わらせると“どこにでもいる人”になってしまいますから。」

奈良観光コンシェルジュに加え、奈良ソムリエとしての肩書きも手にした松原さん。豊富な知識が強みですが、ガイドとして一番大事な事は、体育学部で培われたといいます。

「観光ガイドとして面白い話をするのはもちろん大事なんですが、実はこれは二の次で、一番大事なのはお客様の安全管理、事故防止。必要な応急処置やテーピングの使い方、マッサージなどの知識は、体育学部でバッチリ身につけた事でした。大人数のお客様を連れて歩き回るので体が資本ですし、学生時代の学びや経験がいま、存分に活かされているという実感があります。観光と体育、一見違う分野だと感じますが、共通する部分は多々あるんですよ。」

現在松原さんは、一般的な観光地ではなくマニアックなスポットのガイドがメイン。ツアーに参加するのも歴史や地学に



造詣がある方ばかりですが、そんなお客様が「知らなかった」「こんないいところがあるんですね」と喜んで、リピーターになってくれるのが嬉しい、と口元をゆるめず。

「お客様からのマニアックな質問に『知りません』と返したら、その時点で信頼を失います。だからどんな質問をされても即答できるよう、常に勉強しています。先日は『あそこのお宅に咲いている花は何?』って。信頼の証ですね(笑)。最近では、北海道から九州まで多方面からガイドの依頼があり、奈良以外の場所もガイドをしています。事前準備やレジュメ作成が大変ですが、お客様がレジュメを見ながらツアーに向かう道中からワクワクして喜んでくださると思うと、これからも勉強とレジュメ作成は手が抜けません。お客様の喜ぶ顔が、この仕事を続ける力になっていますから。」

オリジナリティ溢れるツアーが人気の奈良観光コンシェルジュ。「Nara観光コンシェルジュアワード2020」最優秀賞、奈良県知事表彰「あしたのなら表彰」受賞。現在はフリー観光ガイド、映像クリエイター。Youtubeチャンネル「奈良観光コンシェルジュ Jun」



天理大学体育学部卒 奈良観光コンシェルジュ
松原 純さん



組織や人に貢献する人材を育成する 天理大学のキャリア教育

天理大学では、率先して周囲のために行動できる「貢献性」の育成を重視しています。学生の「人間力」を磨き、主体的な進路選びをサポートするキャリア支援の特徴を紹介します。

教職一体で推進する、1対1のキャリア支援

キャリア支援課職員と担当教員との細やかな連携により、少人数制のもとで学生全員と1対1で向き合い、それぞれの目標達成を支えています。重視するのは、学生の個性や意志をどう活かせるかという視点と対話です。何がしたいか、そして周囲のために何ができるのかを考え、行動していくのは学生自身です。お仕着せ型の視線ではなく、学生が主体的に進路を選び、人生を切り拓くことを主眼に置いています。



天理大学生の 強み

専門性と豊かな教養を育む教育は、社会が要請する即戦力の育成につながっています。また、多くの企業から本学卒業生への評価として「人や周囲のことを考えて行動できる」「率先して動き、取り組む姿勢がある」との声が寄せられています。かかわる人すべてを大切にする誠意と、自分も周囲も笑顔にする力が、天理大学生の強さの源泉です。

“強み”を導く要素



貢献性と行動力を養う、多彩なプロジェクト

海外や地域での貢献活動、地域企業との商品開発…多彩な活動で実践力を養う。



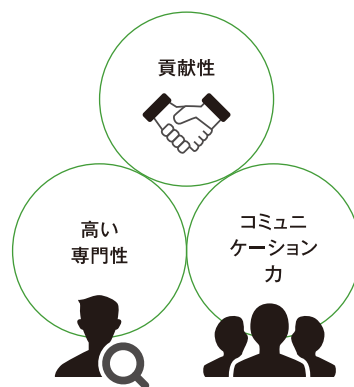
国際感覚を高める、留学・海外研修

留学・海外研修・海外インターンシップで、交友関係や視野が広がる。



スポーツに打ち込む経験が人間性を磨く

全力でスポーツに打ち込む経験が、協調性や人間性を磨く。



教員・公務員をめざす 学生サポートも充実

教員・公務員をめざす学生へのサポートも充実。教員採用試験、公務員採用試験の受験期を迎える前に、学内で各模擬試験を実施しています。「教員採用試験対策講座」では教職教養・面接・集団討論対策を通じて教員採用試験合格をバックアップ。「公務員教養試験対策講座」では、公務員一次試験対策をはじめ面接や論文対策などをトータルで支援します。

学内模擬試験

教員採用試験対策講座

公務員教養試験対策講座

企業からの「声」。

天理大学生を採用した企業から、
毎年好意的な評価が
寄せられています。

“高いコミュニケーション力”

ビジネスマナーなど社会人としての基礎的素地に
加え、協調性及び適応能力が高く、努力を惜しまない姿勢
が共通している。主体的に行動できる卒業生が多く、
向上心が評価できる。

[解説] 本学では仕事への基本的姿勢やマナーの大切
さを伝えながら、学生の持ち味を社会で最大限に活か
す道をともに探っています。こうしたキャリア教育に加
え、ボランティアや部活動で培われたコミュニケーション
力が、多くの職場に貢献していると考えられます。

“国際性と外国語力が、魅力”

多様な国籍の社員が働く当社では、異文化を理解
できる天理大学の卒業生を重宝している。語学力に
留まらず、仲間を思いやり周囲に貢献できる人間性
が魅力だと感じている。

[解説] 本学は留学・海外研修制度の充実に定評があ
ります。海外で国際感覚を磨くなかで身につけた「他
者への献身」という視点が、豊かな人間性へとつな
がっています。各語学検定のサポートにも力を入れて
おり、外国語力に長けた出身者が多いのも特徴です。

“フェアな精神と組織を支える力”

人と積極的にかかわり、周囲を盛り上げようとする
明るさや、誰とでも対等に接しようとするフェアな
姿勢を感じる。

[解説] 「他者への献身」を建学の精神に掲げる本学
では、他者を思い、サポートするボランティアや課外
活動の機会が充実。知識を活かし、周囲に貢献する方
法を考える姿勢を育成しています。ゼミ形式の授業や
部活動で培った周囲と連携する力も強みです。

“失敗を恐れず、挑戦する姿勢”

スポーツ経験者が多いからか、ストレス耐性が高く、
粘り強く頑張る卒業生が多い。礼儀正しく、マナーが
良い点も素晴らしい。

[解説] 本学には部活動に所属し文武両道で頑張る学生
が多く在籍しています。上下関係を学び全力で競技に打
ち込んだ時間が協調性と人間性を磨きます。また、キャ
リア支援課では「身体で覚える就活のポイント」として社
会人の基礎となる礼儀作法の大切さを伝えています。

就職実績

※2024年3月卒業生実績
※人間学部・文学部は2024年4月から人文学部に変更

全学就職実績

96.9%

人文学部



98.8%

●主な就職先
名古屋製酪株式会社／アイコム
株式会社／三菱自動車株式会社
／株式会社興竹／奈良交通株式
会社／スイスポートジャパン株
式会社／株式会社ITXジャパ
ン／ブリジストンリテールジャパ
ン株式会社／上新電機株式会社
／株式会社コスモス薬品／株式
会社京都銀行／公益財団法人天
理よろづ相談所病院／社会福祉
法人大阪府社会福祉協議会／社
会福祉法人京都聴覚言語障害者
福祉協会／社会福祉法人協同福
祉会／防衛省自衛隊／日野町役
場／奈良県広域消防組合／大阪
府警察本部／大阪府役所

文学部



95.7%

●主な就職先
ナカバヤシ株式会社／株式会社
テラオカ関西／生活協同組合お
かやまコープ／京都トヨペット株
式会社／株式会社ヨドバシカメ
ラ／株式会社キタムラ／大和信
用金庫／住友生命保険相互会
社／司法書士法人キャストグロー
バル／奈良県 教員(国語)／岡
山市 教員(社会)／株式会社
ウィルウェイ／公益財団法人天
理よろづ相談所病院／秋田ふる
さと農業協同組合／日本パナ
ユース株式会社／防衛省自衛隊
／奈良県警察本部／九度山町役
場／徳島県庁／橋本市役所／沼
田市役所／東京都庁

国際学部



93.7%

●主な就職先
積水ハウス株式会社／NSファ
ー・ジャパン株式会社／株式会
社PEGASUS／阪急電鉄株式
会社／キャセイパシフィックエ
ア／ウェイズリミテッド／スイスポ
ートジャパン株式会社／株式会社大
阪めいらく／いすゞ自動車近畿株
式会社／トヨタモビリティパー
ツ株式会社／株式会社チュチュア
ンナ／株式会社ビームス／大阪信用
金庫／株式会社星野リゾート／株
式会社ジェイアール西日本ホテル
開発／株式会社ホワイト・ペー
ファミリ／日本郵便株式会社／
大阪ガスセキュリティサービス株
式会社／トランスコスモス株式
会社／大阪府警察本部／奈良県警
察本部／守口市門真市消防組合
／兵庫県警察本部

体育学部



100%

●主な就職先
パナソニック環境エンジニアリング
株式会社／小林クリエイト株式
会社／佐藤薬品工業株式会社／セ
メタイン株式会社／株式会社共和
／住友電気工業株式会社／近畿日
本鉄道株式会社／中央自動車工業
株式会社／つばめガス株式会社／株
式会社アルペン／株式会社青森銀
行／株式会社徳島銀行／日本郵政
株式会社／飯田グループホール
ディングス株式会社／株式会社
JTB／SBCメディカルグループ／
パナソニックエイジフリー株式会
社法務省矯正局 大阪矯正管区／大
阪府警察本部／京都市消防局／天
理市役所／大阪市消防局／京都府
警察本部／増玉西部消防組合／奈
良県警察本部／和歌山県警察本部
／徳島県警察本部

医療学部



98.9%

●主な就職先
公益財団法人天理よろづ相談所病
院／株式会社アイロムグループ／株
式会社LSIメディエンス／株式会
社エスアールエス／株式会社ビー
・エム・エル／株式会社メディック／公
益財団法人天理よろづ相談所病院
南和広域医療企業団／独立行政法
人奈良県立病院機構／社会福祉法
人恩賜財団済生会／国民健康保険
南丹病院組合 京都中部総合医療
センター／社会医療法人畿内会 岡
波総合病院／日本赤十字社 京都
第一赤十字病院／兵庫県立はりま
姫路総合医療センター／地方独立
行政法人桑名市総合医療センター
社会医療法人高清水 高井病院／医
療法人康仁会 西の京病院／国
立大学法人高知大学 高知大学医
学部附属病院

順不同

研究室探訪

支援を必要とする人が暮らしやすい社会へ。
実践と研究の両面から社会福祉に取り組む。

——どんな研究をしていますか？

天理大学で社会福祉を学び、他大学の大学院へ進学。卒業後は社会福祉施設で7年間社会福祉士として高齢者支援に携わってきました。その経験を活かし、現在は天理市内の高齢者の相談機関とともに、若年性認知症のある方々が活動できる場づくりに取り組んでいます。社会福祉学科、看護学科の教員、学生ともかわりながら、実践と研究の両面から活動を続けています。

——研究の目的は何ですか？

地域に必要とされるものを創りあげ、社会を変えていくことを目的としています。自分自身が高齢期または支援を必要とする立場になった時、どのような社会だったら良いかを日々考え、研究に取り組んでいます。

——研究は社会や人をどう「CONNECT」しますか？

私たちが暮らす社会のさまざまなものを組み合わせながら支援を行うのが社会福祉の仕事。いままでつながりがなかったものを社会福祉の専門職が市民と一緒につなぎあわせることで、支援が必要な人々を支え、その人らしい人生が歩める、暮らしやすい社会をめざしています。

——在学生や受験生にメッセージを。

「人の役に立ちたい」という思いを持っている若者は、これからの社会を支えていく貴重な人材です。いま、世界は地球規模で「たすけ」を求めている時です。天理大学はさまざまな学問分野から人々の幸せを願う大学です。未来の世界、社会の姿と一緒に探究していきましょう。



人文学部 社会福祉学科
講師 種村 理太郎

創立100周年記念企画

Flashback —あの、歴史的瞬間。

1926年3月11日：校友会発足

天理大学の前身、天理外国語学校に校友会が正式発足した当初、講演部・文芸部・剣道部・柔道部・弓術部・蹴球(ラグビー)部・庭球(テニス)部が設置されました。ラグビーは当時一般的ではありませんでしたが、それだけに短期間で学校名を知らしめる可能性を秘め、その積極的精神性が創設の理念に通ずると選ばれました。いまでは、天理大学はラグビーの強豪校として知られています。



天理市周辺の名店とその逸品を紹介

THE 天理ゴハン

河島英五ファミリーが営むワッフル&ランチのお店

2024年8月、歌手の河島英五ファミリーが営む人気カフェの2号店が天理駅前広場コフフンにオープン。テイクアウトでも楽しめるサクサク食感のクロッフルが新登場。ランチメニューでは、牛肉100%の柔らかハンバーグに高級卵の目玉焼きをのせたハンバーグプレートがイチオシ。今後も随時新商品が追加されていく予定なので要チェックです。



TEN.TEN.CAFE 天理コフフン店

[クロッフル]: ¥390-
[牛肉100%ハンバーグプレート]: ¥1,080-
〒632-0016 奈良県天理市川原城町803
近鉄天理線/天理駅 徒歩1分
OPEN: 11:30~16:00
定休日: 不定休